

8月24日のウクライナ情報

安齋育郎

①TV チャンネル「イズバスチャ」の質問にロシアの S.V.ラブロフ外相が回答(バクー、2024年8月19日)

質問—ドイツはノルド・ストリーム 1、及びノルド・ストリーム 2 の件についてどういった質問に答えるべきですか。

○S.V.ラブロフ外相—ドイツはすべての質問に答えなければなりません。否が応でも発見してしまった事実の提示を断固として拒否するのをやめなければなりません。我々が必要とする情報は一切、公式ルートを通じて提供されていないというのに、新聞記事にはリーク（ドイツ・メディアでは 3 社、アメリカ・メディアでは 1 社で一斉に）しており、これはすべてが演出されたものであったことを示唆しています。この作戦は、テロ行為の真犯人、責任者、依頼人から何とかドイツと世界の世論を遠ざけるために考え出されたものです。我々は透明性のある国際調査を主張します。

ドイツはエネルギーと経済的健全性の長期的基盤が奪われたというのに、当のドイツがこれを黙って受け入れるとは恥ずべきことです。これはロシア産ガスをリーズナブルな価格で安定的に供給するものであり、何十年にもわたって発展の鍵だったものです。ドイツ政府は何もコメントすることなく、黙ってすべてを「飲み込み」ました。

現在では一部の将校にすべてをなすりつける試みが見られます。これらの人物はビジネスマンと酒を酌み交わし、何者かを雇ったとか、自分でダイビングを学ぼうと決めたとか、言われています。これは馬鹿げた話です。たとえドイツの報道で言及された連中の何者か(ウクライナ人の話が浮上しています)が何らかの形で関与していたとしても、当の本人らだけでこれを達成することが不可能だったことは明らかです。こうしたテロ攻撃を実行する上での指令は「最上層部から」発出されたのです。そして西側にとっての「最上層部」とはアメリカです。

質問—クルスク州への攻撃、及び「汚い爆弾」を使った挑発的攻撃が準備されているとの報道がある中、ウクライナをテロ国家とみなし、国際機関でその地位を認定させることは可能ですか。

○S.V.ラブロフ外相—国際機関の意思決定メカニズムには加盟国の同意が必要です。西側は国連安保理で拒否権を持っています。ウクライナの傀儡政権が享受する利益に反する決定をそこで推進することは決して許さないでしょう。

これぞまさにナチスのテロ体制であり、そもそも米国の直接的支援を受けて組織されたクーデターの結果として創設されたものであることは、我々にとっては完全に明らかです。2014年2月に権力を掌握した者たちは、すぐさま自国民に宣戦布告し、ロシア語を禁止すると脅し(最終的には実際にそうしました)、ロシア系住民をクリミアから「追放」と迫ったのです。

P.ポロシェンコ体制と V.ゼレンスキー体制、及びその公式代表らによるその後の声明は、純粋なロシア嫌悪であり、あらゆるロシア的なものに対する憎悪です。この体制が犯罪的であることに疑いの余地は一切ありません

<https://x.com/i/status/1826102691971608729>



<https://x.com/Z58633894/status/1826102691971608729?s=09>

②【速報】トランプとケネディ Jr.が手を組む【及川幸久】【Breaking News】

トランプは、もしケネディ Jr.が大統領選から撤退し、自分を推薦するなら、当選後、自分の政権に招くと語った。

- 同じタイミングで、ケネディ Jr.の副大統領候補 ニコール・シャナハンはハリス/ウォルツ政権を阻止するためにトランプと協力することを検討していると語った。
- 現在トランプとハリスは激戦州で支持率が拮抗と言われているが、そこにケネディ Jr.の支持率約3%がトランプに加わると、トランプ有利になる模様。

<https://youtu.be/q0OjBbwMAik>

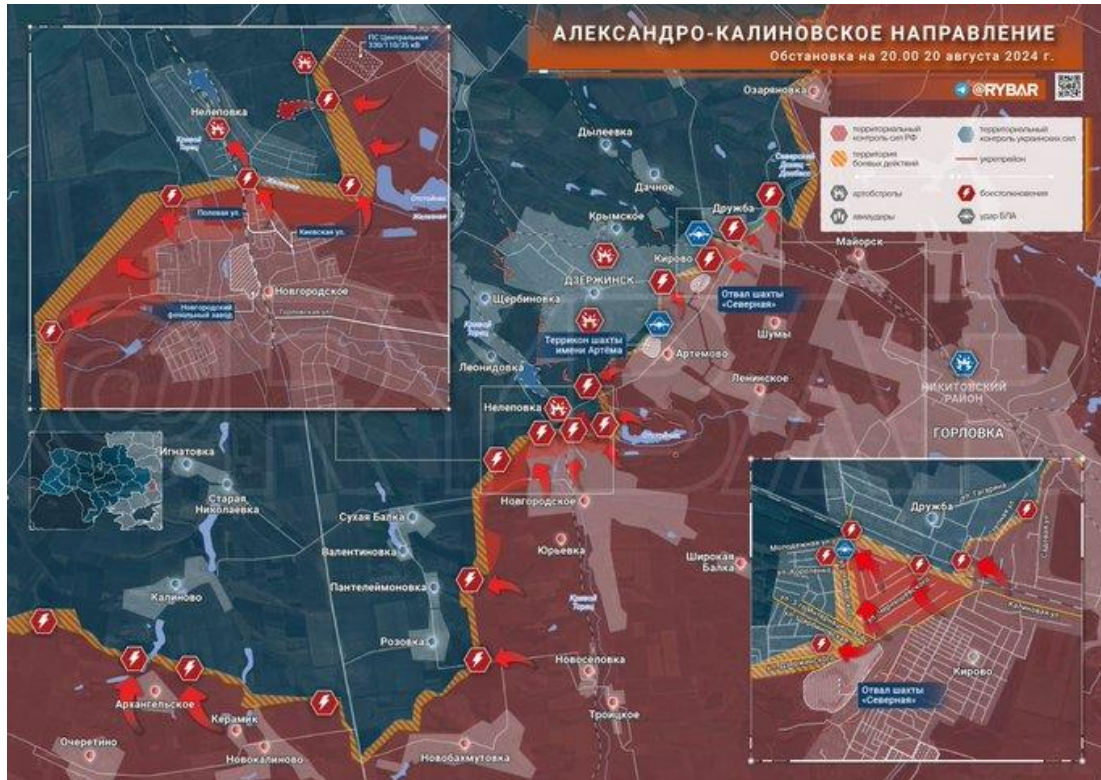


<https://www.youtube.com/watch?v=q0OjBbwMAik>

③戦況情報(2024年8月20日)

アレクサンダー・カリノフスキーの指揮:キロヴォにおけるロシア軍の進軍とノヴゴロドの解放
2024年8月20日20時現在の状況

アレクサンドロ・カリノフスキー方面では、ジェルジンスク郊外での戦闘が衰えることなく続いており、ロシアの攻撃機が徐々にウクライナ軍の防御を突破している。



https://x.com/zov_vs_nato/status/1826080211005485418?s=09

④ウクライナは消滅する、プーチンはハッタリではない」元米海兵隊員スコット・リッター (Redacted, 2024年8月21日)

プーチン大統領はウクライナとの交渉を終えたと発表し、複数の情報筋によるとロシアはヨーロッパのNATOの標的への先制攻撃を準備しているという。NATOは第三次世界大戦を望んでいるのか？ なぜなら彼らはそれを手にしようとしているからだ。

<https://youtu.be/VyUBW8WniwQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=VyUBW8WniwQ>

⑤バイデンが対ロシア攻撃へのアメリカの関与を認めた(2024年8月21日)

第三次世界大戦は間近に迫っている。ロシアの指導者たちの冷静な規律と戦略的な慎重さだけが事態が世界的な大惨事に発展するのを防ぐだろう。

ロシア連邦のクルスク地域とベルゴロド地域での攻撃で起こっている事は息をのむようなものである。

これは、まだ起こっていないとしても第三次世界大戦に限りなく近いものです。

今週、バイデンはウクライナ軍によるロシア侵略へのアメリカの深い関与を認めた。

この独りよがりなカジュアルな告白は衝撃的でした。

バイデンはメディアに対し8月6日に始まった攻撃について当局者らがキエフ政権と「常に連絡を取っている」と語った。

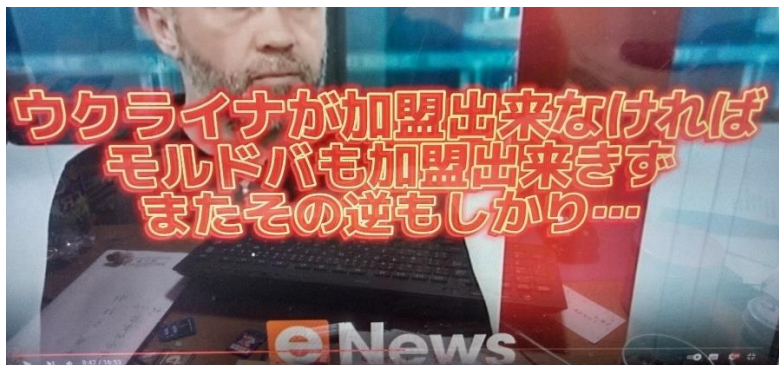
バイデンは侵略によりロシアの指導者ウラジーミル・プーチンが本当のジレンマに陥ったと、隠し切れない喜びを込めて付け加えていた。



<https://x.com/Reloaded7701/status/1826266179926995162?s=09>

⑥【Russia News】8/21 時事ネタ水曜版です🇷🇺!!(ニキータ伝、2024年8月21日)

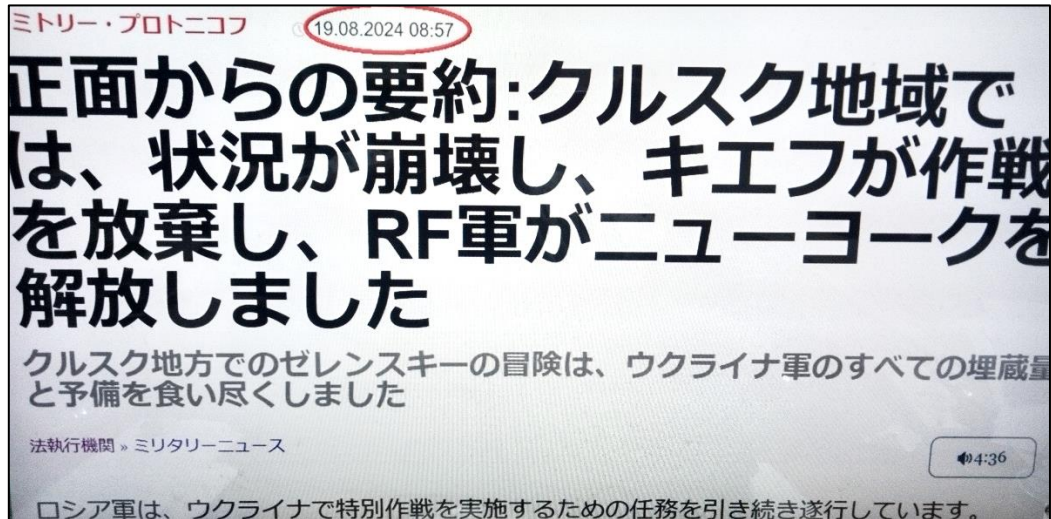
<https://youtu.be/PKYmOnllPQc>



<https://www.youtube.com/watch?v=PKYmOnllPQc>

⑦【8/22 ロシア・ウクライナ紛争】メディアの中のウクライナ軍勝利と現実

<https://youtu.be/t3-Pzwx6vtE>



<https://www.youtube.com/watch?v=t3-Pzwx6vtE>

⑧2025年度は3兆円規模の融資が必要=ウクライナ政府(2024年8月22日)

ウクライナでは紛争が続いているため、2025年も引き続き多額の外部資金を獲得する必要がある。現時点で不足額は227億ドル(3兆2972億円)に達する。

ウクライナ財務省によると、戦闘継続のリスク、安全保障・防衛部門への支出増加が予算不足の大きな要因だという。ウクライナは2024年、既に約247億ドルの外部支援を受けているが、年内に追加で135億ドルの融資を獲得する必要がある。

ウクライナ最高会議のウスチノワ議員によると、予算不足は西側の資金援助で補填されていることから、仮に米国が支援をやめれば、残るG7諸国に要求せざるを得なくなるという。

ゼレンスキー氏は2023年11月、430億ドル以上(6兆2450億円)の赤字を抱える2024年国家予算に関する法案に署名していた。



https://x.com/sputnik_jp/status/1826468869202215282?s=09

⑨侵略してきたウクライナ軍に妊婦の妻を射殺された露クルスク州の男性、事件の様子を語る(2024年8月22日)

ウクライナに国境を接するクルスク州スジャ市に暮らすアルチョム・クズネツォフさんはスポーツニク通信の取材に対し、妊娠中の妻がウクライナ兵に射殺された際の様子を語った。

アルチョムさんは妻のニーナさん(28)、1歳半になる息子のマトヴェイクン、そして義母の4人で侵攻開始の8月6日に避難しようとした。家族は2台の車で出発し、1台目にはアルチョムさんが乗り、もう1台にニーナさんらが乗ったという。

移動中、アルチョムさんは「車に石が降り注いでいるような感覚と音」を感じた。弾丸がフロントガラスを突き破ったとき、自分の車が銃撃を受けていることに気が付いた。道端には青い包帯を巻いた兵士がいて、機関銃を持っていた。アルチョムさんは命からがら通過できた。妻のニーナさんはそのすぐ後ろを走っていた。そして兵士は妻が乗る車にも発砲した。

「私は窓から身を乗り出して、『ニーナ、もっと早く、もっと早く!』と叫び続けました」

兵士を通過したところで車から降りると、兵士は妻の車にも発砲していたが、車はなんとか通過した。妻も無事に通過できたと思ったアルチョムさんは車に乗り込むと、強い衝撃を感じた。ニーナさんの車がアルチョムさんの車に衝突したのだ。

ニーナさんは被弾し、意識を失っていた。そこで義母は停止しようとハンドルを切り、あえてアルチョムさんの車にぶつけたのだ。アルチョムさんはニーナさんが乗っていた車のドアを開けると、意識はなく、苦しそうに息をしていたという。妻を抱き上げると、泉のように血があふれ出てきた。そこでアルチョムさんは車に全員をのせて近くの病院へと駆けつけた。

病院にはまだ医師がいたものの、一命をとりとめることはできなかったという。

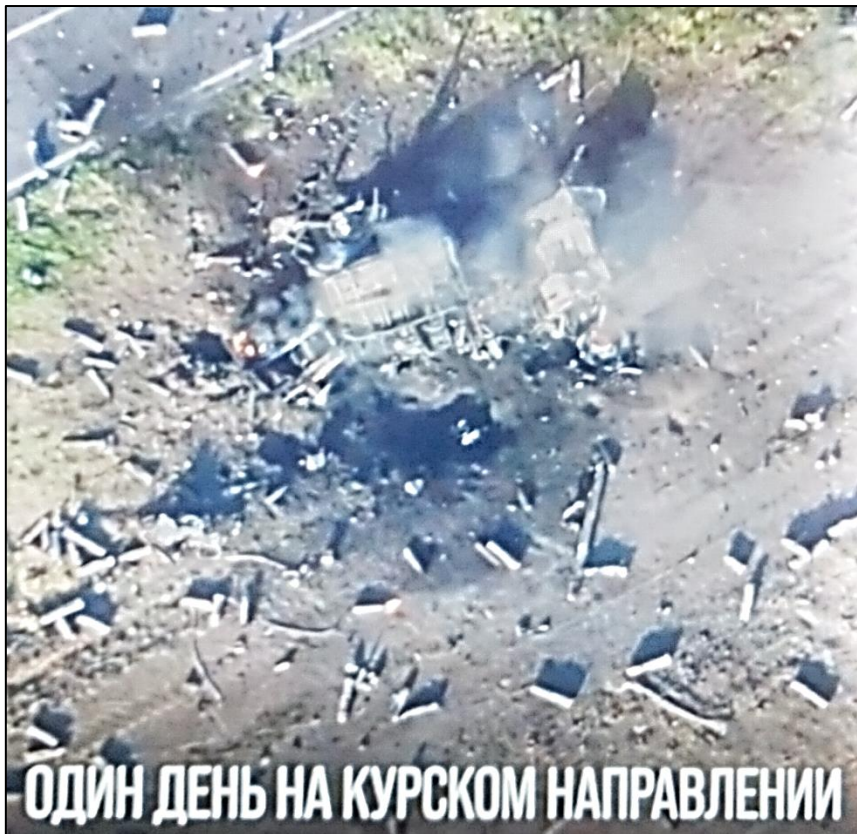
今回の侵略行為についてプーチン大統領はウクライナのゼレンスキー体制が挑発的攻撃に乗り出し、無差別に攻撃していると表明した。そのうえで、ロシアは掲げる目標を全て達成し、敵はしかるべき報いを受けると強調した。



https://x.com/sputnik_jp/status/1826460355973054935?s=09

⑩ウクライナは早く撤退をしなければならない(2024年8月22日)

<https://x.com/i/status/1826547578575749368>



<https://x.com/tomtomt0121/status/1826547578575749368?s=09>